

GIFTS & TASKS

2017年9月号

自宅や世界の中で福音を生きる手助け
信徒マリアニスト共同体の国際組織 (IO-MLC)
北米・アジア・オーストラリア・アイルランドの地域

巻頭言

今回はこの地区の国際アドバイザー評議会のメンバーであるマリア会のテッド・キャシディ師をお招きしました。師の考えを分かち合ひましょう。

シャミナード師からフェリー師へ、フィッツ士へ、あなたへ **FRANCAIS**

マリアニストにとってとても素晴らしい出来事は、マリア会のフェリー師によって書かれたシャミナード師の霊性をまとめたものが復刻されたことです。二ヶ月前

(2017年7月)の北米信徒マリアニスト大会でマリア会のレイモンド・フィッツ士は、マリアニスト運動について話しました。士の話の中で、都市部におけるマリア

ニストが、そこでさらなる社会正義に向けて協力していかにかにシャミナード師のカリスマに従うことができるかを示しました。フィッツ士の考えは、シャミナード師がどのようにボルドーで活動したかということに基づいています。これはまたフェリー師によって打ち出されたマリアニスト・カリスマをまとめたものを発展させたものです。



フェリー師はデイトン出身で、使徒的宣教方法と共にシャミナード師の霊性を勉強しました。1958年ニューヨーク州ミネオラにあるシャミナード高校でそのまとめたものを提示しました。シャミナード師の霊性方式は以下です。

- ・ 聖母マリアへの奉獻
- ・ 徳の体系
- ・ 心の信仰の祈り、信仰生活、希望、キリストの神秘の中で生きる恵み

シャミナード師の使徒的宣教方法は、善に向けてのエネルギーの伝播と増大によって成長する様々な種類の共同体を一つにしようとしました。これによって神の国の環境を創り上げていきます。



Fr. Wm. Ferree

フィッツ士が話したマリアニスト運動は、私たちの時代にこれらすべての素晴らしい概念を完成に導きます。シャミナード師のビジョンの全体像に対するフェリー師の理解に気付くこととそれを運動に生かしていくことが目標です。ここデイトンではこのビジョンを統合することができるマリアニスト家族評議会を発展させています。あなたの地域ではマリアニスト家族評議会がどのようにその霊性と使徒的宣教を調和させていますか。



Bro. Ray Fitz

テッド・キャシディ師、マリア会

地域の出来事

プエルトリコ

プエルトリコは米国の領土であり、マリア会がここで学校 [Colegio San José](#) を経営しているので、数年来北米のマリアニストがこの島と交流しています。最近この学校とつながりのある信徒が信徒マリアニスト共同体を組織しました。

オハイオ州デイトンで開催された7月の大会に出席するために、彼らは共同体の会員から4人のメンバーを送るという選択をして意義深いステップを踏み出しました。これはプエルトリコの信徒マリアニストにとってきわめて重要な機会です。私の希望としては、あなた方の多くがキャメロン・カマチョと彼女のご主人、加えてペドロ・ジェレナとマリア・ザルデュオンドと話す機会を持てたのではと考えています。

彼らは今 MLC-NA の会員であることを通して信徒マリアニスト共同体国際機構と提携することを進めています。



Susan Vogt and Kateri Dillon pose with Puerto Rican participants (the Camachos and Maria Zaldouondo). Photo by Pedro Gerena.

これに関連して、私たちすべては大会後間もなく [Hurricane Maria](#) がプエルトリコを直撃したことを知っています。マリア会のブラザーたちの報告によれば、学校は主だった構造的な損傷は免れたけれど、バスケットボール・ジムの屋根の一部が吹き飛ばされ水が引かないということです。今2番目のハリケーンであるハリケーン・マリアが前より増してプエルトリコを襲ったことはまたよく知られています。

国のほとんどで電力が使えないので正確な損害はわかりませんが、復旧には数ヶ月かかるかもしれませんので連絡は難しいです。危険な状況におかれているすべての人のことを気にかけていますが、プエルトリコに住んでいる人を個人的に知っているとのことよりは身近に感じられます。

プエルトリコの信徒マリアニストの成長についてさらなる情報に注意しててください。



世界の出来事

10月8日：世界マリアニスト祈りの日

全家族にとって世界マリアニスト祈りの日は常に大きなお祝い입니다。この機会を共に祝うことはどのような時でも素晴らしいことです。2017年はマリア会創立記念の祝典の日が世界マリアニスト祈りの日となります。これは実際の記念日の前日である2017年10月1日の日曜日にフランスのボルドーで祝われます。もちろん世界中のマリアニスト共同体は、どこでもマリア会とともに共同体でお祝いできます。



フランス語ですが、ボルドーで使われるお祈りをご覧ください。in [FRANÇAIS](#)
または簡単な英語の訳をご覧ください。 [ENGLISH](#).

最新：[Click here](#) すると「デイトンのマリアニスト家族からの世界マリアニスト祈りの日」についてさらなる背景と資料をご覧ください。

もし共同体でのお祝いを計画するのに遅すぎるようでしたら、個人的な黙想としてこのお祈りをお使いください。

祈りましょう

- ・ ハリケーン・マリアの被害にあったプエルトリコの人々にために。
- ・ しかし世界中で人間の生命を脅かしている気象はイルマだけではありません。私たちはまたヒューストン、フロリダ、そして最近のハリケーンで洪水に襲われたインドのためにも祈りと支援を送りましょう。
- ・ 化石燃料に対する人間の欲求が神の創造を冒瀆し続けている時、世界中の生命と暮らしを破壊し続けている気候変動に対して、私たちの政府が真摯に向き合いますように。あなたの祈りに政治的行動を加えてください。私たち次第なのです。

